



利用者視点での 新たな価値創造とICT ～自分や会社の仕事を変えていくには～

2016年 2月

富士通株式会社

シニアエキスパート 西川 仁

自己紹介と内容

◆自己紹介

西川 仁

現在：富士通 法務コンプライアンス知的財産本部
シニアエキスパート

経験：グローバルSE・コンサル 20年
人材開発部 7年
知財部門 9年

◆本日の内容

- ① 36年の会社生活で何が大きく変化したのか？
- ② 新しい時代にむけたアプローチとは
- ③ 学生の皆さんにむけた提言

米国特許からみた日本の実力

◆ 2014年米国特許登録件数上位

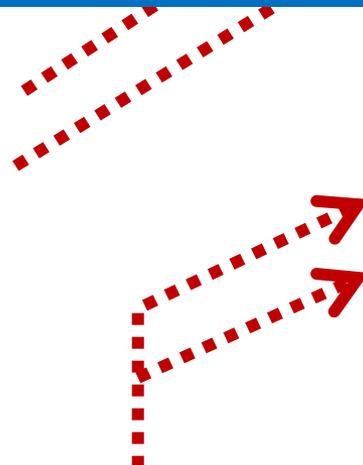
◆ 2015年米国特許登録件数上位

順位	企業
1	IBM
2	サムスン電子

順位	企業
1	IBM
2	サムスン電子

日本企業は特許は多いのに、なぜ調子が悪いのか？
外資はなぜ調子がいいのか？

6	富士通
7	クアルコム
8	グーグル
9	LG電子
10	パナソニック
	～
13	富士通



6	富士通
7	ソニー
8	LG電子
9	インテル
10	アップル
	～
16	富士通

この30年で変化してきたこと 社会の変化

集団から個、集中から分散 ⇒ 超多様化

◆ 組織の論理重視 ⇔ 個人のライフスタイル尊重

◆ 大

真逆の変化

変化の牽引役は I C T

自前

◆ 目

◆ 系列 ⇔ パートナーシップ、水平連携

金から共感・貢献 ⇒ 価値観の変化

◆ Japan as No1、バブル ⇔ 震災、絆、ソーシャルネットワーク

◆ 会社人間 ⇔ 地域貢献、ボランティア、志、Iターン

企業ビジネスの変化

一言でいうと：手本の無い時代に入った

いままでのモデル

系列・下請け

答えが
見つからない

モノづくり

技術改良
人員動員

想定内

手本となる
技術と
売り方

改良

慣れ親しんだアプローチ

手本あり、自前主義
技術力に自信

いままでとは別な
アプローチが必要！

キーワード：

- ◇イノベーション
- ◇モノからコト
- ◇Whyから考える

キーワード1：イノベーション

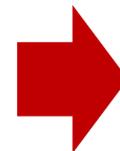
全く新しい技術や考え方を取り入れ新たな価値を生み
社会的に大きな変化を起こすこと 「新結合」

※日本では技術革新と受止めた

- ◆ 100年前からイノベーションは提起されていた
シュンペータ(1883-1950)

油断をしていると、あっという間に退場せざるおえなくなってしまう時代、その逆もあり。

- ◆ 目覚ましい変化の速さ
- ・ 道具の進化とオープン化
- ・ 商売に国境が無くなってきた
- ・ 新市場：ソーシャル
- ・ 変化のスピードが「超」
- ・ アイデア勝負



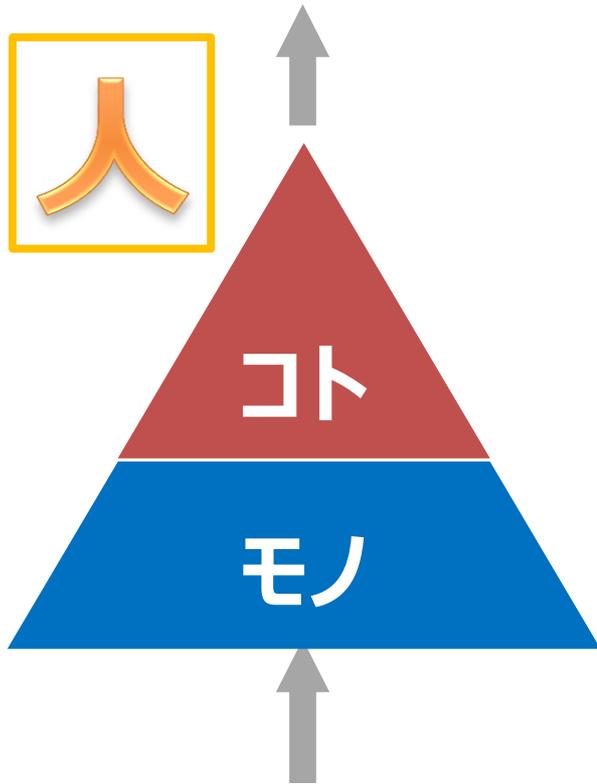
「個人」でもイノベーションを起こせる
機会が急激に
増えてきた



ICTが強力な牽引役

キーワード2 : モノからコト中心の商売へ

社会、業界、個人へ
どんな価値提供
するか？



ソフト、ハード、センサー、
技術、標準、ライセンス..

■モノだけの商売は限界！？

■コトを中心に据えた商売へ

➤ **モノとコトの定義** 野中郁次郎先生

・「モノ」とはSubstanceであり、
人間と関係なく存在する

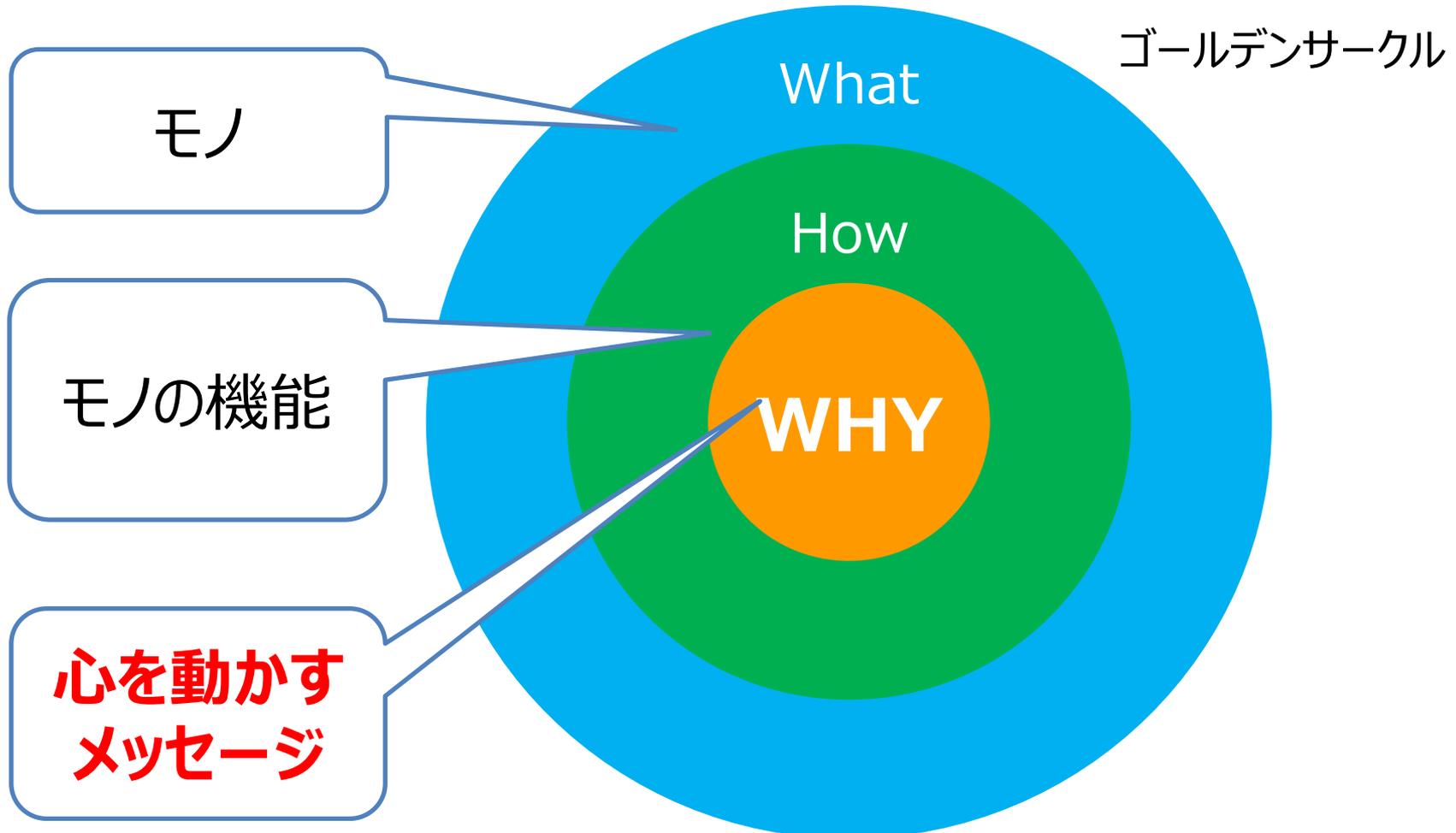
・「コト」とは、人々に何らかの新しい
経験や共感を与えるEvent

➤ 「コト」の実現にはサービスや
アプリケーションとモノが必要

コトの本質

■ 人はWhat やHowではなく“Why”に動かされる

サイモン シネック: 優れたリーダーはどうやって行動を促すか TED 25.5 百万view



iPodにみるコトづくり+知財

**世界中の音楽をポケットに！
1000曲の音楽をポケットに！**
(1000 songs in your pocket)

- ◆ **2001年 IPOD with**
 - オートシンク機能 (PCとIPODデータ転送)
 - スクロールリング (音楽選択利便性)
- ◆ **2004年 iTunes Music Store**

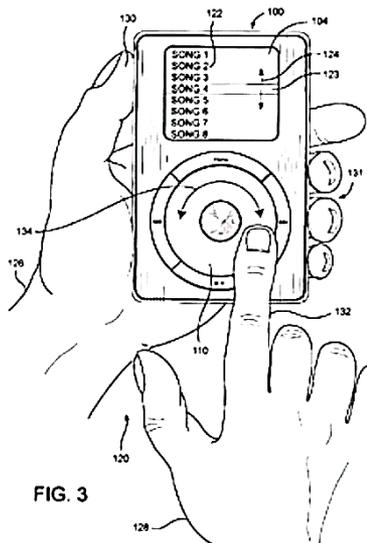
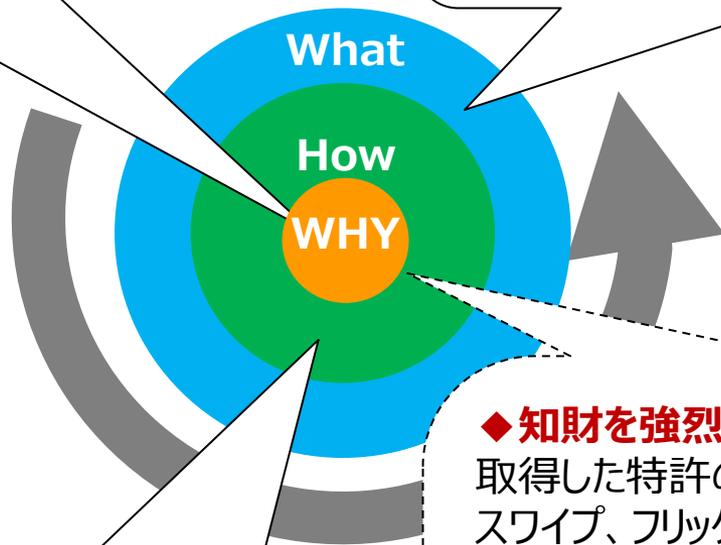


FIG. 3

図11 円形ホイールの回転でメニュースクロールも加速する特許。特許第4672757号 (公開特許公報の図9)

世界中のデジタル・オーディオ・プレーヤーの不满をモノ、ソフト、サービスで解決する！

- ◆ コンパクトな筐体にパソコン並みのディスク容量を
- ◆ PCとIPODデータ転送が面倒(オートシンク機能)
- ◆ 音楽選択が大変 (スクロールリング)
- ◆ 楽曲の入手が面倒 (iTunes Music Store)



成立したアップル特許の内訳(日本)

技術分野	特許件数
ユーザーインターフェイス	51
プログラム制御	22
画像通信	19
メモリアクセス	18
データ通信	8
電話通信	5
電子商取引	4
暗号化技術	2
その他	71
合計	200

【出】 成立したアップル特許の内訳 (2001年8月末日までの公開特許公報より)

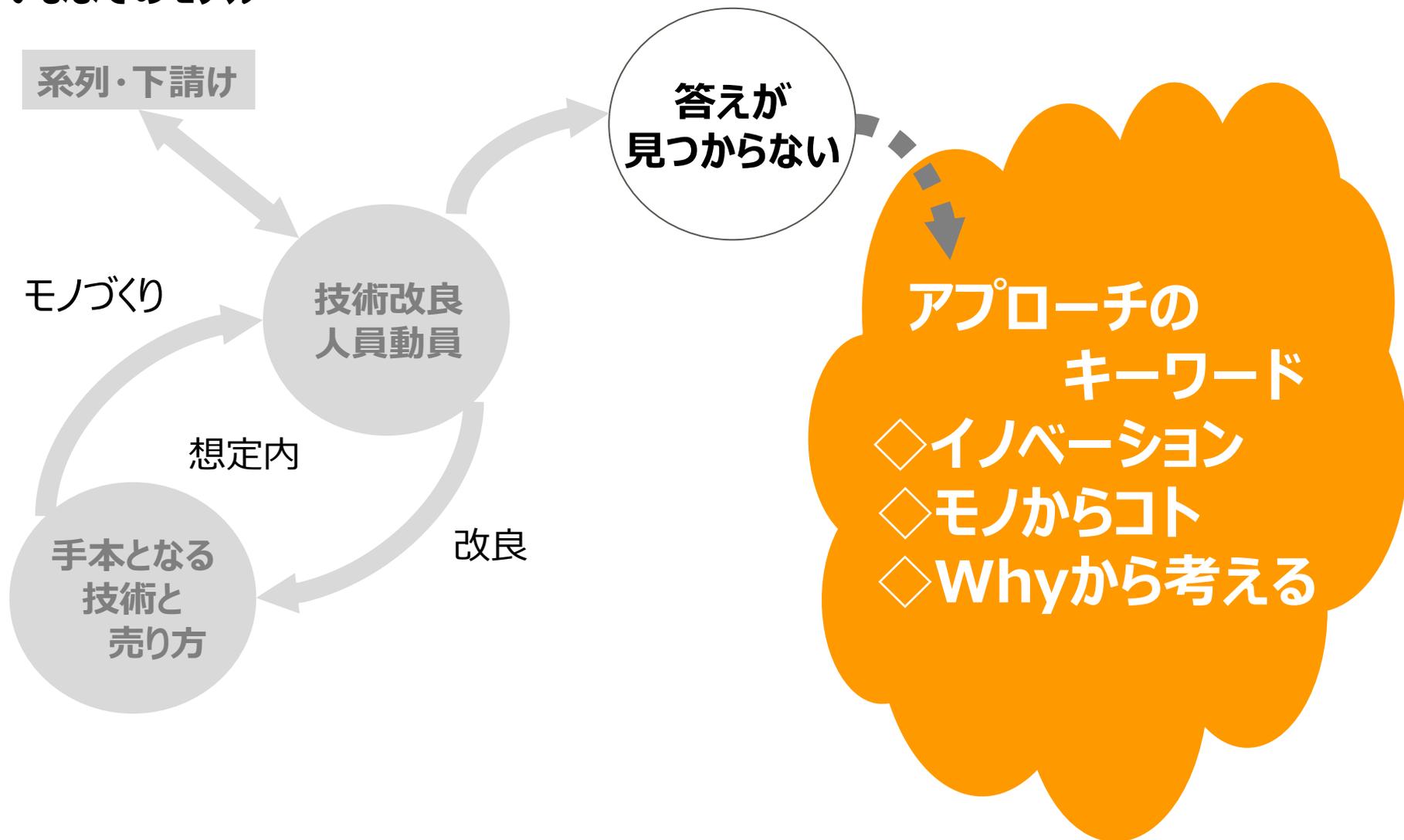
◆ 知財を強烈に意識するアップル

取得した特許の1/4はユーザーインターフェイス。スワイプ、フリック、ピンチ・イン/アウト等のユーザーインターフェイスを実現するための多点同時認識可能な静電容量パネルの物理構造や、これらの操作に基づく画面変化をソフトウェア関連発明として取得している。

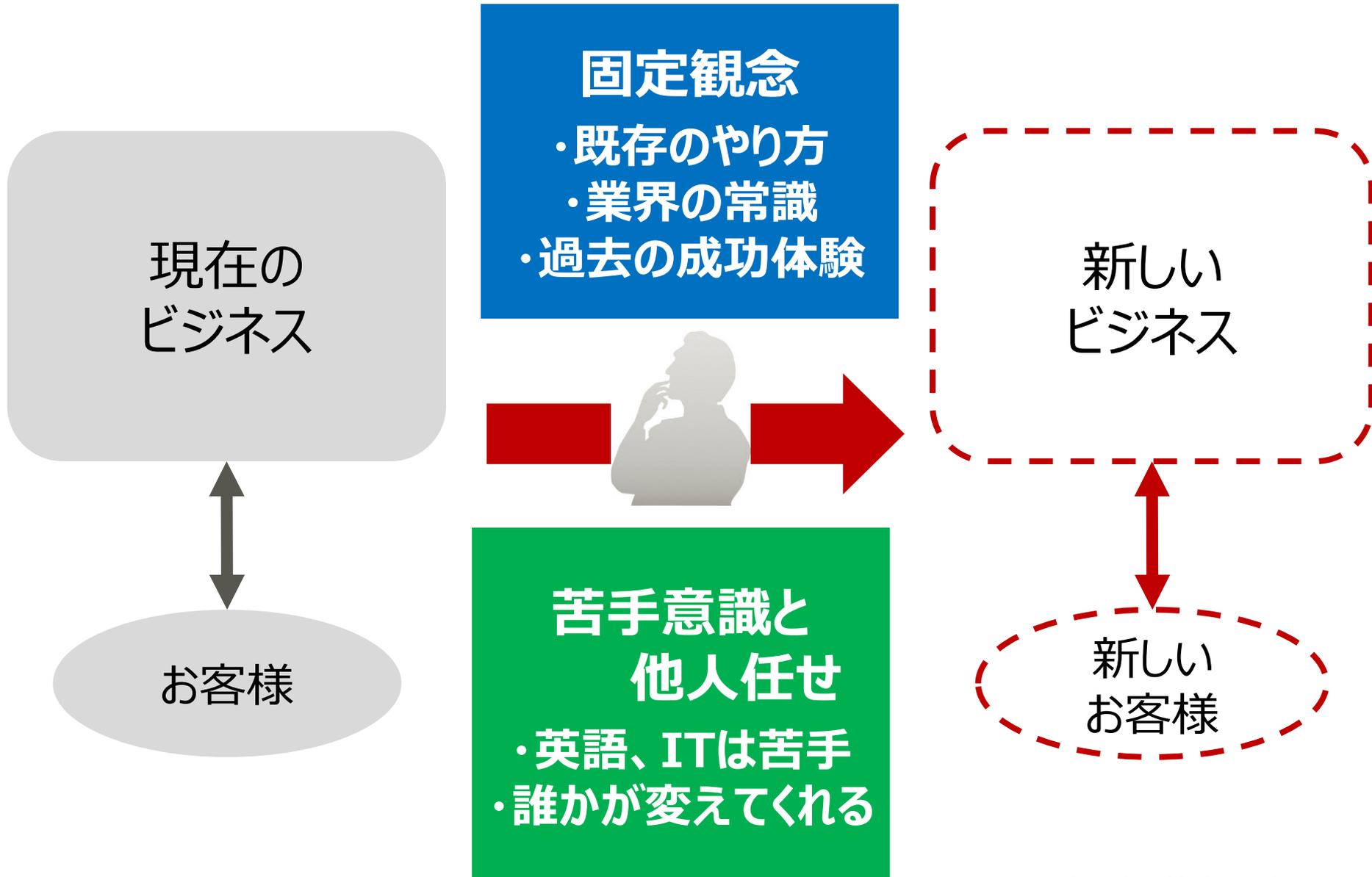
- ◆ iPhoneではロゴマーク、店舗デザイン、アイコン、デバイス、製品パッケージ、アクセサリすべてを知財でデザイン保護 (意匠、トレードマークも含めた「知財ミックス」)

手本の無い時代のアプローチ まとめ

いままでのモデル



イノベーションを邪魔するもの：意識の壁



提言：自分や会社の仕事を変えていくには

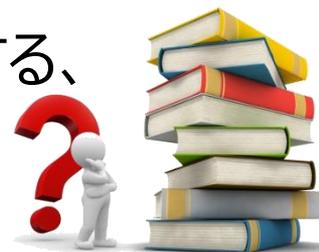
① **社畜**サラリーマンにならないこと

社畜とは会社に飼い慣らされてしまい自分の意思と良心を放棄したサラリーマンの状態を揶揄したもの。

自分で考える習慣

■ 社畜の行動特性

- 考えない、判断しない、夢は持たない、上司のミラーに徹する、自分ではやらない、やれない、だけどやたら論評は上手い。
- 基本的に教養(知識はあるが自分の考えはない)がないので、自分の村では通用しても、村の外では相手にされない。
- これは高度成長時代(成長が約束されていた時代)の遺産かも。



② **ICTと英語**を苦手としないこと

- ICTと英語は仕事に劇的な変化を起こす道具であると心に刻む。
- おけいこでは身につかない身近なICTツールと英語での仕事術
- ネットは素晴らしい先生



提言：自分や会社の仕事を変えていくには

【正しい軸を持つ】

- ・感受性を磨く
- ・自分事とする

- ・全体観を持つ
- ・自由でオープンなマインドで

- ・焦点を明確に
- ・プチサプライズ
- ・リスクテーク

- ・本気でやる
- ・熱い仲間とともに
- ・少ない投資で早く

気付く

事実、現実
変化、コトの
本質



想像する

未来、夢、
思い、志
ストーリー



構想する

シナリオ
を描く



実行する

プロトタイプ
で試行し段階
的に拡大

ICT

【社畜サラリーマンの軸】

鈍感、
他人事
村のコト

村のルール
部分にこだわる
自前主義

予定調和
焦点てんこ盛り
自分はノーリスク

どこかうそん気
傍観者
組織化に走る

終わり